

最新のルビ入り組版について

ルビが入る書籍の制作は、編集・組版ともに大きな負担がかかります。
当社では最新のルビ入力支援システムを導入しました。
ルビ入れ作業の大幅な省力化を図ることが可能です。

■編集・組版ともに負担の大きなルビ入れ作業

ルビが入る書籍の制作は、原稿に手書きでルビの指定を入れて入稿していただくのが一般的でした。近年ではInDesignがWordのルビの取り込みに対応しているため、Wordデータ上でルビを入れて入稿していただくケースも徐々に増えてきています。ただし、Wordの場合、総ルビとしてすべての漢字に対し一括でルビを入れることが基本的にできません。また、モノルビの設定も一つずつ行わなければいけません。いずれの作業も組版を進めるうえで大きな負担となっていました。

■当社のルビ入力支援システム

当社が導入しているルビ入力支援システムは、

InDesign上で一括してルビを入れたり、モノルビ・グループルビの設定を一括して変更することが可能です。InDesignCS4～CC2014に対応してしています。主な特徴を下表にまとめました。

■変換精度について

常用漢字であれば非常に高い精度でルビが入れられます。また、難読漢字にもある程度対応しています。ただし精度は100%ではありませんので、一括ルビ入れを行う際には、出校前に当社でもチェックはしますが、お客様でのご確認もあわせてお願いいたします。また、歴史書など難読漢字が非常に多い場合、一括ルビ入れが難しい場合もありますので、担当営業までご相談ください。

①総ルビ一括入力

InDesign上で選択されている文章、InDesignドキュメントのすべての文字に対してまとめてルビを入力することができます。その際、ルビの形式や対象となる文字などをあらかじめ設定しておくことができます。設定できる項目は以下のようになります。

- ・ルビの種類：モノルビ、グループルビ
- ・ルビ文字の種類：全てひらがな、英字のみカタカナ、全てカタカナ
- ・拗促音使用の可否
- ・ルビ入れ対象となる親文字の設定：
 - 全ての漢字
 - 小学校2年生以上で習う漢字
 - 小学校3年生以上で習う漢字
 - 小学校4年生以上で習う漢字
 - 小学校5年生以上で習う漢字
 - 小学校6年生以上で習う漢字
 - 中学校以上で習う漢字
 - 常用漢字以外
 - 全角カタカナを対象にするか否か

- 全角英字を対象にするか否か
- 半角英字を対象にするか否か
- 全角数字を対象にするか否か
- 半角数字を対象にするか否か

②グループルビ（モノルビ）の一括変換

InDesign上で選択されている文章、InDesignドキュメントのすべての文字に対して一括してルビの種類を変換することができます。Word上ですべてグループルビになっている場合でも、InDesignに流し込んでから変換することが可能です。

③拗促音使用可否のコントロール

InDesign上で選択されている文章、InDesignドキュメントのすべてのルビに対して一括して拗音、促音の可否をコントロールすることができます。

④EPUB書き出し用ルビ変換

EPUBデータの場合、ルビはすべて1文字単位で設定されている必要があります。当システムでEPUB書き出しを行う場合には、自動的に1文字単位のルビに変換されてEPUBに出力されます。

ルビ入れ工程サンプル

1
私はよく実家へ遊びに行った。実家はすぐ裏町の奥まった広い果樹園にとり囲まれた小じんまりした家であった。そこは玄関に檜が掛けてあってひのきの重い四枚の戸があった。父はもう六十を越えていたが、母はまゆのあとの青々とした四十代の色の白い人であった。私は茶の間へ飛び込むと、
「なにかくだいな……。」
と、すぐお菓子をねだった。その茶の間は、いつも時計の音ばかりが聞こえるほど静かで、非常にきれいに整頓された清潔な居間であった。
「またお前来たのかえ。たつた今帰ったばかりなのに。」
と言って茶だなから菓子ざらを出して、客にでもするように、よくようかんや、もなかを盛って出してくれるのであった。母は、どういふときも菓子は器物に入れて、いつも特別な客にでもするように、お茶と添えてくれるのであった。茶だなや戸障子はみなよくふかれていた。長火ばちを隔ってすわって、母と向かい合わせに話すことが好きであった。
母は小柄なきりつとした、色白なというよりいくぶん青白い顔をしていた。私はもらわれて行

2
私はよく実家へ遊びに行った。実家はすぐ裏町の奥まった広い果樹園にとり囲まれた小じんまりした家であった。そこは玄関に檜が掛けてあってひのきの重い四枚の戸があった。父はもう六十を越えていたが、母はまゆのあとの青々とした四十代の色の白い人であった。私は茶の間へ飛び込むと、
「なにかくだいな……。」
と、すぐお菓子をねだった。その茶の間は、いつも時計の音ばかりが聞こえるほど静かで、非常にきれいに整頓された清潔な居間であった。
「またお前来たのかえ。たつた今帰ったばかりなのに。」
と言って茶だなから菓子ざらを出して、客にでもするように、よくようかんや、もなかを盛って出してくれるのであった。母は、どういふときも菓子は器物に入れて、いつも特別な客にでもするように、お茶と添えてくれるのであった。茶だなや戸障子はみなよくふかれていた。長火ばちを隔ってすわって、母と向かい合わせに話すことが好きであった。
母は小柄なきりつとした、色白なというよりいくぶん青白い顔をしていた。私はもらわれて行

3
私はよく実家へ遊びに行った。実家はすぐ裏町の奥まった広い果樹園にとり囲まれた小じんまりした家であった。そこは玄関に檜が掛けてあってひのきの重い四枚の戸があった。父はもう六十を越えていたが、母はまゆのあとの青々とした四十代の色の白い人であった。私は茶の間へ飛び込むと、
「なにかくだいな……。」
と、すぐお菓子をねだった。その茶の間は、いつも時計の音ばかりが聞こえるほど静かで、非常にきれいに整頓された清潔な居間であった。
「またお前来たのかえ。たつた今帰ったばかりなのに。」
と言って茶だなから菓子ざらを出して、客にでもするように、よくようかんや、もなかを盛って出してくれるのであった。母は、どういふときも菓子は器物に入れて、いつも特別な客にでもするように、お茶と添えてくれるのであった。茶だなや戸障子はみなよくふかれていた。長火ばちを隔ってすわって、母と向かい合わせに話すことが好きであった。
母は小柄なきりつとした、色白なというよりいくぶん青白い顔をしていた。私はもらわれて行

- 1 ルビ入れ処理前
- 2 「小学校3年生以上で習う漢字」、「グループルビ」の設定で一括ルビ入れ処理
- 3 グループルビを一括で「モノルビ」に変更

